



パンフレットのツアーNo. をクリック（タップ）すると、  
該当ツアーの申し込み画面に移動できます。

# 紅葉の「光悦寺」と松伯美術館「魂の継承」

★★★ゆったりバス席おひとり様2席利用の「ダブルシート」プラン(23名様限定)★★★

## 光悦寺

江戸初期の文化人・本阿弥光悦が1615年(元和1)徳川家康から与えられたこの地に草堂を結び、法華題目堂を建てたのが起こりです。光悦の死後、寺(日蓮宗)となりました。境内には、大虚庵など7つの茶室があります。竹を斜めに組んだ垣根は光悦垣と呼ばれています。建立は1656(明暦2)年。

光悦垣



## 大和文華館

特別企画展

文字の魅力・書の美

会期:

2020年11月20日(金)～12月25日(金)

文字は、思いを人に伝えたり、重要な事柄を後世に伝えたりするためになくてはならないものです。本展では、文字の深い魅力に満ちた、古筆や書蹟、書状、文書、そして文字と絵が美しく協奏する作品が展示されます。

新古今集和歌色紙  
本阿弥光悦筆  
大和文華館蔵



## 松伯美術館

上村松園・上村松篁・

上村淳之展

「魂の継承～受け継がれる心～」

上村松園は四条派の画家・幸野暮楳(こうのばいれい)、近代京都画壇を牽引した竹内栖鳳(たけうちせいほう)に師事。女性ならではの感性で、京風俗や古典文学、能・謡曲などに基づいた格調高い美人画を次々と描き、独自の作品世界を構築しました。昭和23年には、その功績が認められ、女性初の文化勲章を受章。その翌年、74歳で生涯に幕を閉じました。明治から令和、三代が生きた激動の時代を超え、今なお輝き続ける作品をお楽しみください。

上村松篁「月明」昭和54年(1979)  
松伯美術館蔵



■旅行代金 (おひとり様) **19,600円**

ツアーNo.201135

昼食・入館料・拝観料付

●旅行代金への支援額

**6,800円**

■お支払い実績

※お取消の際は、旅行代金を基準として所定の取消料が発生します。

**12,800円**

所蔵名作展

「近代日本の洋画・日本画」

[日本画]は、村上華岳を中心に、入江波光、富田溪仙など、[洋画]は、須田国太郎を中心に、青木繁、萬鉄五郎など、また[版画]は、長谷川潔、駒井哲郎などを展示しています。



■行程 各地=光悦寺=しょうざんリゾート京都(昼食・お買い物)=松伯美術館=大和文華館…中野美術館=各地

■発着地と出発日、発着時間

昼食

京料理「紙屋川」:  
しょうざんリゾート  
京都

(1人1席)



なんば 8:30 梅田 9:00 出発

17:30～18:00頃帰着

11月28日(土)

お電話・FAXでのお申し込み・お問い合わせは



**06-6644-7900**



**06-6644-6400**

営業時間：平日 9：30～17：30（土日祝・年末年始を除く）

◀◀ [なんかいい旅TOPへもどる](#)